



Technical white paper

HP Device Manager 5.0 SP1 インストール・アップデート手順書

日本 hp 技術本部 バージョン：1.00

目次

はじめに	2
HPDM の構成	2
1.インストール先のサーバーの準備	3
2.HPDM Softpaq の入手と展開	4
3.HPDM の新規インストール	5
4.HPDM のアップデート	16

はじめに

本資料では、HP Device Manager 5.0 SP1 の新規インストールと既存の HPDM のアップデート手順を説明します。

※詳細は、「HP Device Manager 5.0 Administrator Guide」および「HP Device Manager 5.0 SP1 リリースノート」を参照ください。

<ftp://ftp.hp.com/pub/hpdm/Documentation/AdminGuide/5.0/>

<ftp://ftp.hp.com/pub/hpdm/Documentation/ReleaseNotes/>

HPDM の構成

HP Device Manager は、主に以下のコンポーネントで構成されています。

- HPDM コンソール
管理者が HP Device Manager を操作するためのユーザーインターフェイス。
- HPDM サーバー
すべての管理活動を制御する中心的なサーバー。SQL データベースを使用します。
SQL データベースは、PostgreSQL が HPDM のインストーラーに含まれています。
- HPDM ゲートウェイ
HPDM サーバーとシンククライアントに常駐する HPDM エージェントを中継します。
HPDM ゲートウェイは環境に応じて複数追加することが可能。
- HPDM エージェント
デバイス管理に必要なとなるシンククライアント側のソフトウェア（シンククライアントにプリインストールされています）。
- マスター/チャイルドリポジトリ
HPDM が使用するツールやファイル等のコンテンツを保管する場所。
メインのマスターリポジトリに加えてチャイルドリポジトリを追加することが可能。
それらはマスターリポジトリコントローラーによって制御・同期されます。
- HPDM Configuration Center
HPDM の各種設定をまとめて確認/設定可能なツール。

1. インストール先のサーバーの準備

本資料では、Windows Server 2016 が動作する物理または仮想サーバーへのインストールを想定しています。最低 10GB 以上のディスクの空き容量が必要になります。

サーバーの要件は、「HP Device Manager 5.0 SP1 リリースノート」を参照ください。

<ftp://ftp.hp.com/pub/hpdm/Documentation/ReleaseNotes/>

リポジトリの通信プロトコル

リポジトリは通信プロトコルとして HTTPS、FTP/FTPS、SFTP、SMB v2 を使用できます。プロトコルは 1 つまたは複数を利用できます。

Windows モデルのシンクライアントにキャッシュなしのイメージングを実行する場合、SMB v2 プロトコルが必要となるため、本資料ではデフォルトの HTTPS に加えて SMB v2 も設定します。

※ ThinPro 5 のシンクライアントにキャッシュなしのイメージングを実行する場合、FTP プロトコルが必要です。FTP を設定する場合「HP Device Manager 5.0 Administrator Guide」の「FTP Repositories」を参照ください。

<ftp://ftp.hp.com/pub/hpdm/Documentation/AdminGuide/5.0/>

Windows ファイアウォールの設定

Windows Server 2016 では Windows ファイアウォールが初期状態で有効になっています。Windows ファイアウォールを有効にして HP Device Manager を使用する場合、以下の手順で Windows ファイアウォールの例外ルールを設定する必要があります。

1. コマンドプロンプトを管理者モードで起動します。
2. 次のコマンドを実行して HPDM サーバー、HPDM ゲートウェイ、HPDM エージェント間の通信のための例外ルールを設定します。

```
netsh advfirewall firewall add rule name="HP Device Manager UDP IN" action=allow protocol=UDP dir=in localport=40000
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name="HP Device Manager UDP OUT" action=allow protocol=UDP dir=out localport=40000
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name="HP Device Manager TCP IN" action=allow protocol=TCP dir=in localport=40001-40009,40012
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name="HP Device Manager TCP OUT" action=allow protocol=TCP dir=out localport=40001-40009,40012
```

3. 次のコマンドを実行して HTTPS リポジトリのための例外ルールを設定します。

```
netsh advfirewall firewall add rule name="HPDM HTTPS TCP IN" action=allow protocol=TCP dir=in localport=443
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name="HPDM HTTPS TCP OUT" action=allow protocol=TCP dir=out localport=443
```

2.HPDM Softpaq の入手と展開

ダウンロードした HPDM の Softpaq を展開し、HPDM のインストーラーを取り出します。

1. HP Device Manager 5.0 SP1 (sp100287.exe) をダウンロードします。
<http://h30437.www3.hp.com/pub/softpaq/sp100001-100500/sp100287.exe>
2. ダウンロードした sp100287.exe は、インストール先のサーバーで実行します。
3. 画面の指示に従い、次へ進めます。

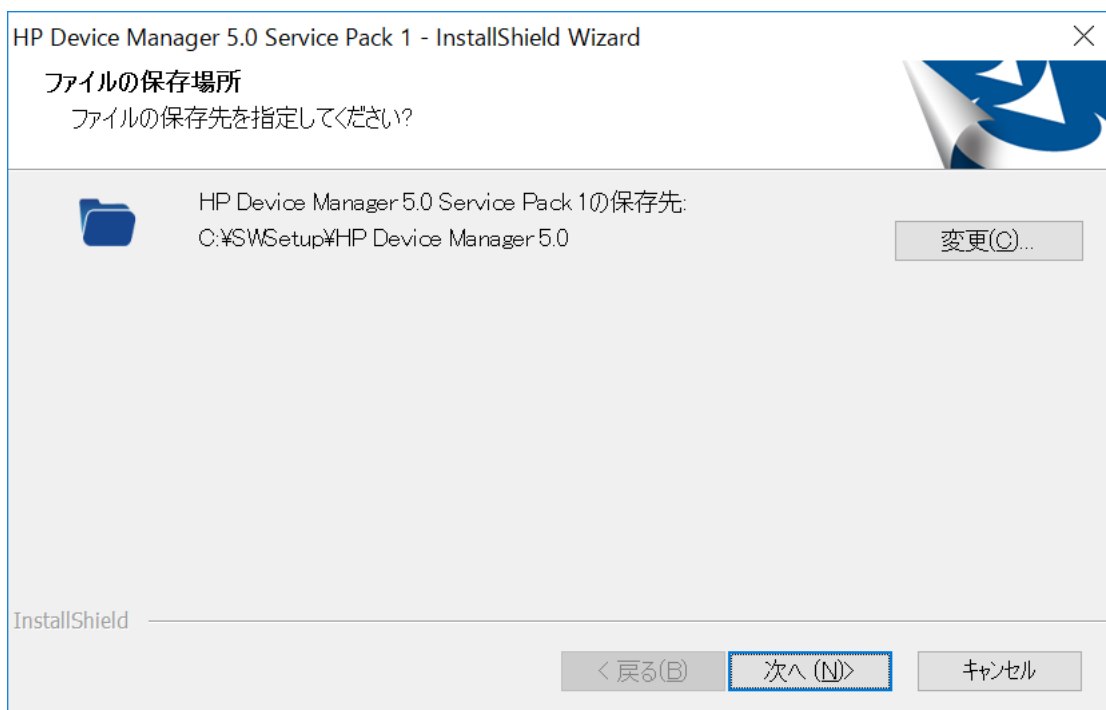


4. C:\SWSetup\SP100287_HPDM50SP1 フォルダに HP Device Manager のインストーラー (HP_Device_Manager-5.0SP1.exe) が展開されます。

3.HPDM の新規インストール

以下の手順では、HPDM の標準的なコンポーネントを 1 台のサーバーにインストールする方法を説明します。

1. HPDM のインストール先のサーバーに管理者権限のあるユーザーでログオンして HP_Device_Manager-5.0SP1.exe を実行します。（または“管理者として実行”します。）
2. “次へ” をクリックします。



3. “次へ” をクリックします。



4. 使用許諾契約にチェックを入れ、“次へ” をクリックします。



5. “完全”を選択して、“次へ”をクリックします。



“完全”を選択した場合、デフォルト値によるセットアップとなり、ユーザー名やパスワードはランダムな値になります。

これらの設定は、後で HPDM Configuration Center から任意のものに変更できます。

HPDM Configuration Center は、HPDM のインストールが完了すると Windows のスタートメニューから起動できます。

6. 前提条件が満たされていることを確認し“インストール”をクリックします。

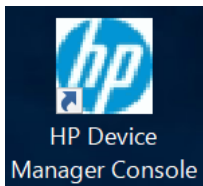


7. “内蔵の PostgreSQL データベースを使用してサービスを開始します” を選択して “完了” をクリックします。



8. OS を再起動します。

9. デスクトップ上の“HP Device Manager Console” をクリックします。



10. HPDM にアクセスするためのパスワードを設定し、“OK” をクリックします。

パスワードの設定

新しいパスワードの取得

自動ログオンの後に、パスワードを設定してください。

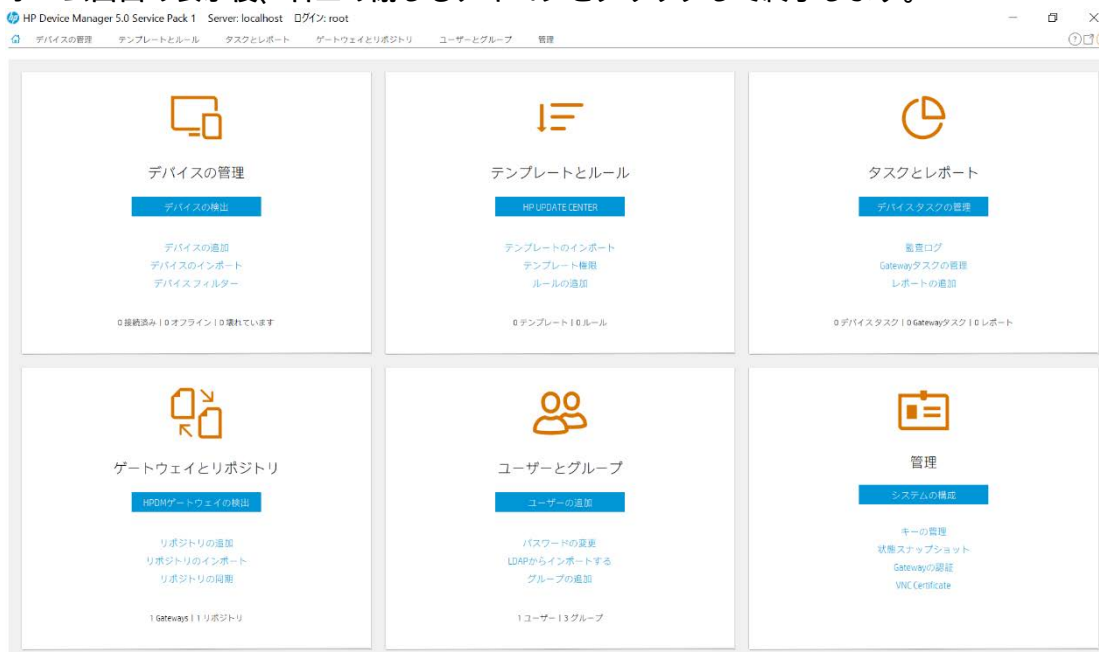
ユーザー名:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

OK キャンセル

11. ホーム画面の表示後、右上の閉じるアイコンをクリックして終了します。



12. SMB v2 プロトコルを有効化するため、リポジトリに共有の設定をします。

リポジトリは C:\ProgramData\HP\HP Device Manager\HPDM に設定されています。

(C:\ProgramData は、通常 Windows の隠しフォルダとして設定されています。)

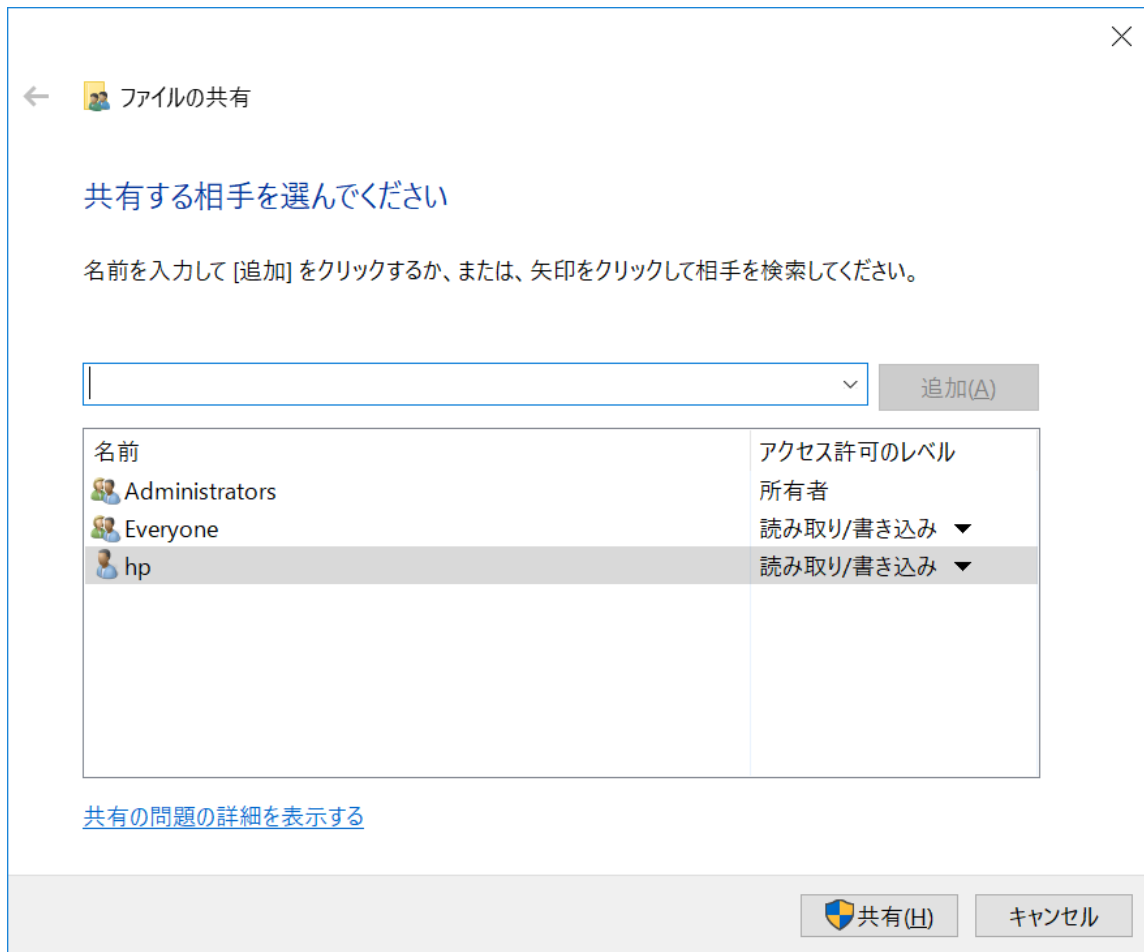
13. C:\ProgramData\HP\HP Device Manager\HPDM フォルダを右クリックしてプロパティを開きます。



14. “共有” タブを開き、“共有” ボタンをクリックします。



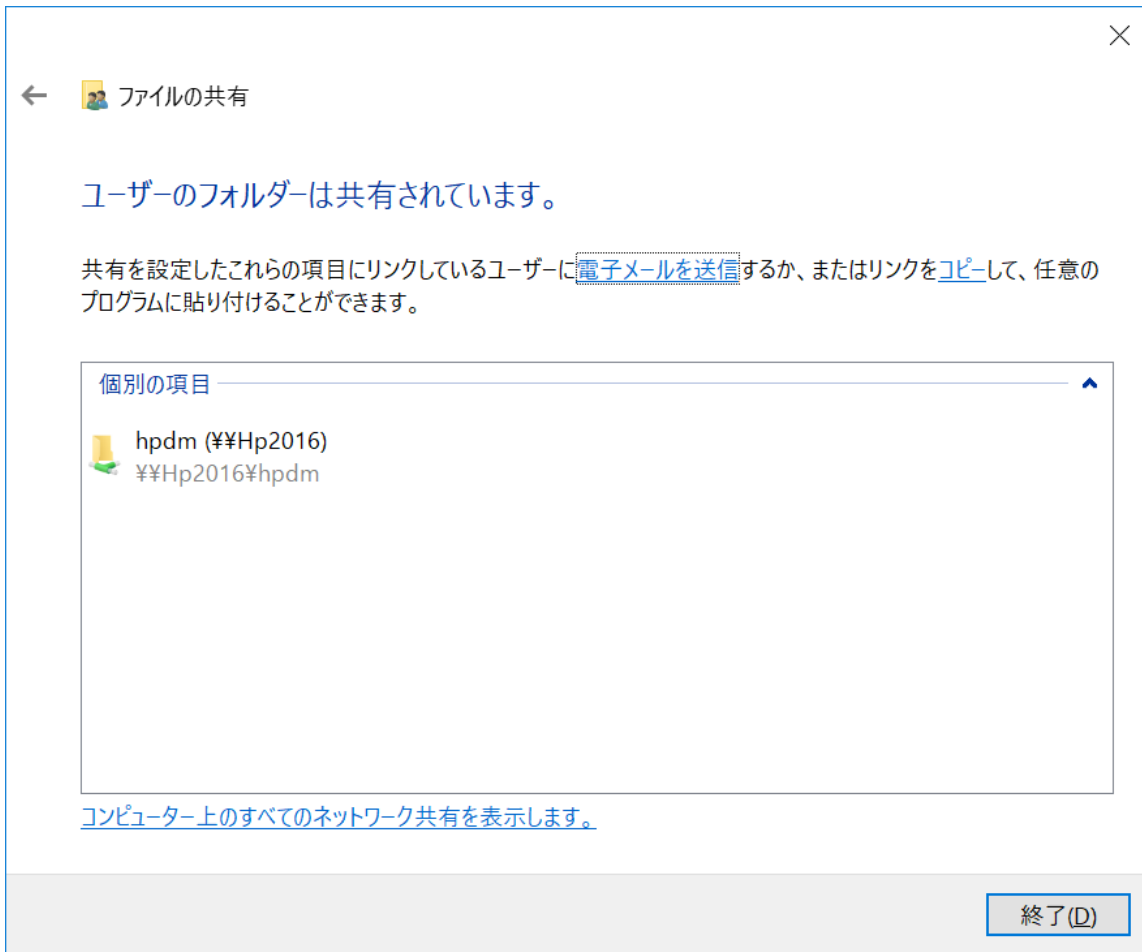
15. 共有する相手を選択します。HPDM をセットアップ中の Windows のアカウント※に対してアクセス許可のレベルを“所有者”または“読み取り/書き込み”に設定し、“共有”をクリックします。（※例では“hp”アカウントを利用しています）



16. “ネットワークの探索とファイル共有”では“いいえ、接続～”を選択します。

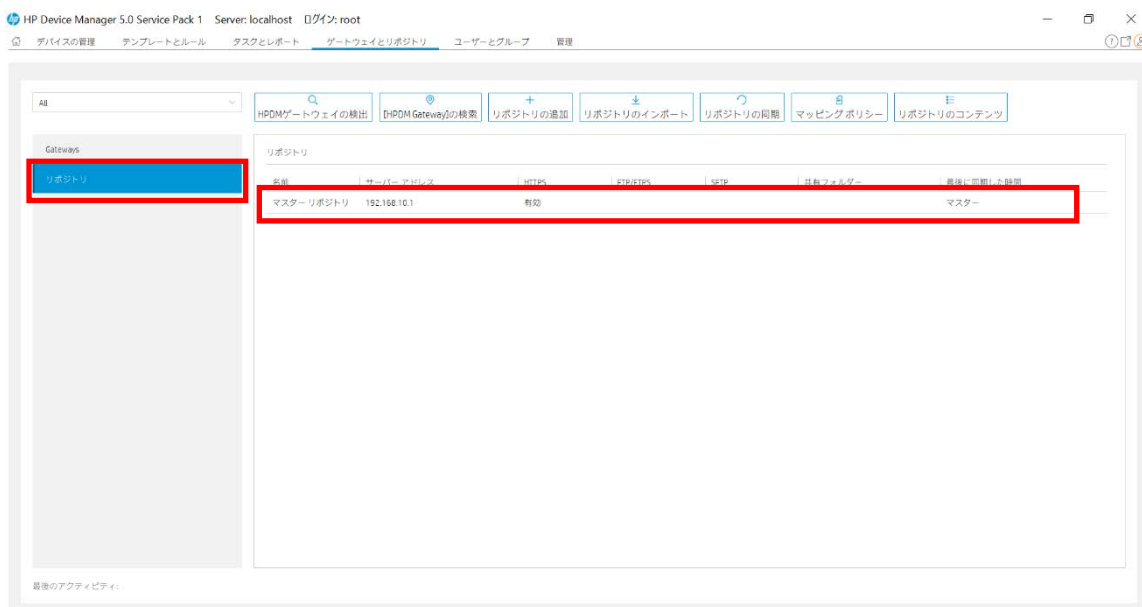


17. “終了” をクリックします。



18. HPDM を起動し、“ゲートウェイとリポジトリ” を選択します。

画面左の“リポジトリ” を選択し “マスターリポジトリ” をダブルクリックします。



19. “プロトコルの設定”にて“SMB v2”にチェックを入れ“次へ”をクリックします。

リポジトリの設定ウィザード

初期化手順

- 基本情報
- プロトコルの設定
- HTTPS
- SMB v2
- 概要

プロトコルの設定

現在のリポジトリ用に、以下のプロトコルを少なくとも1つ選択してください:

- HTTPS
- FTP/FTPS
- SFTP
- SMB v2

i 注：イメージファイルを保存するための十分な空き領域がないWES Thin Clientに対してイメージのキャプチャまたは展開を実行するには、共有フォルダーが必要です。

<前へ 次へ> 完了 キャンセル

20. “HTTPS”は、“次へ”をクリックします。

リポジトリの設定ウィザード

初期化手順

- 基本情報
- プロトコルの設定
- HTTPS
- SMB v2
- 概要

HTTPSプロトコルの設定

マスター リポジトリのインストール中に「Repository」フォルダーが作成されます。マスターリポジトリが正しく構成された場合は、以下のURLに「Repository」ディレクトリが表示されます。

コネクタ: 443

ユーザー名: wr1XKMoC

パスワード: *****

URL: https://192.168.10.1/

<前へ 次へ> 完了 キャンセル

21. “SMB v2” では、“ユーザー名” “パスワード”（ステップ 15 で共有の対象にしたアカウント）、URL に “HPDM” を入力します。“次へ” をクリックします。

リポジトリの設定ウィザード

初期化手順

- 基本情報
- プロトコルの設定
- HTTPS
- SMB v2**
- 概要

SMB v2プロトコルの設定

マスター リポジトリのインストール中に「Repository」フォルダーが作成されます。マスター リポジトリが正しく構成された場合は、以下のURLに「Repository」ディレクトリが表示されます。

ユーザー名: hp

パスワード: *****

URL: \\192.168.10.1\HPDM

<前へ 次へ> 完了 キャンセル

22. “テストリポジトリ” を実行し、テスト結果に問題がないことを確認します。“完了” をクリックします。

リポジトリの設定ウィザード

初期化手順

- 基本情報
- プロトコルの設定
- HTTPS
- SMB v2
- 概要**

概要

このリポジトリのプロトコル設定を検証するには、以下の[Test Repository]（リポジトリのテスト）ボタンを使用します。テスト結果がこのページに反映されます。

プロトコル	コネクタ	URL	ユーザー名
HTTPS	443	https://192.168.10	wr1XKMoC
SMB	N/A	\\192.168.10.1\HP	hp

テスト結果

SMBの場合、が正常に行われました。
HTTPSの場合、が正常に行われました。
[Master Repository Controller]のアクセスの検証が終了しました。

テストリポジトリ

<前へ 次へ> 完了 キャンセル

以上で SMB v2 プロトコルの有効化は完了です。また HPDM の新規インストールも完了しています。

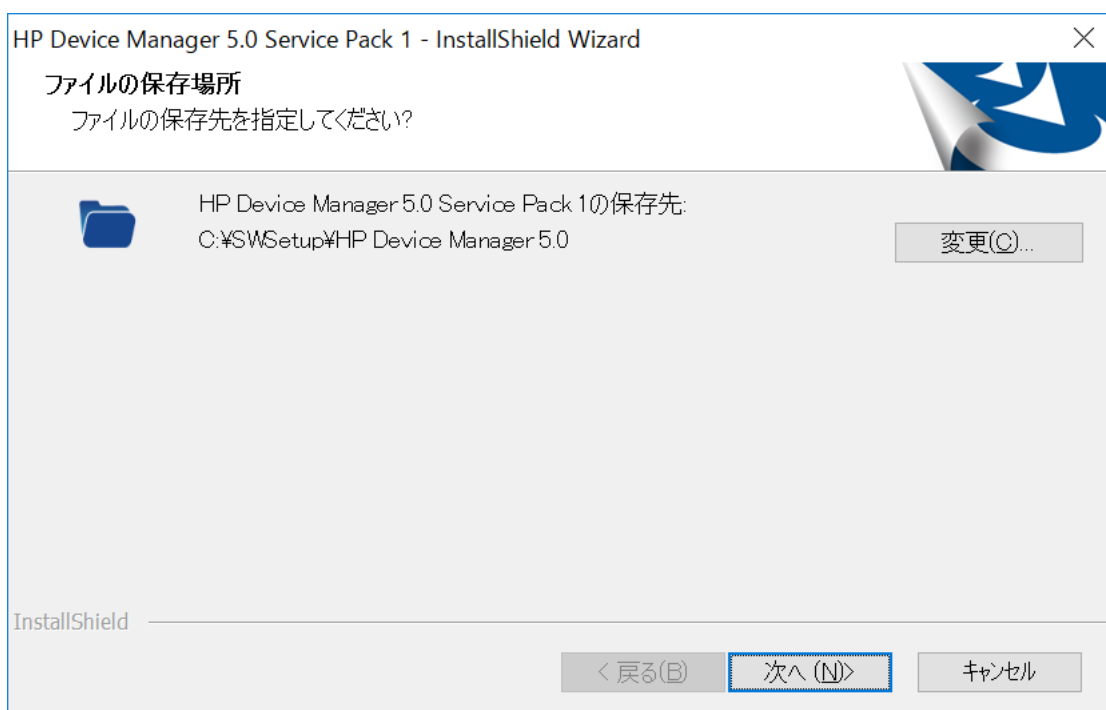
4.HPDM のアップデート

以前のバージョンの HPDM がインストールされている場合、新しいバージョンの HPDM インストーラーを使用して HPDM をアップデートできます。

※ HP Device Manager 5.0 SP1 へのアップデートは、HP Device Manager 4.7 世代または 5.0 に対応しています。

以下の手順では、1 台のサーバーに HPDM コンソール、HPDM サーバー、HPDM ゲートウェイ、マスターリポジトリコントローラー、HPDM HTTPS サーバーがインストールされている標準的な構成をアップデートします。

1. HPDM がインストールされているサーバーに管理者権限のあるユーザーでログオンし、HP_Device_Manager-5.0SP1.exe を実行します。（または “管理者として実行” します。）
2. “次へ” をクリックします。



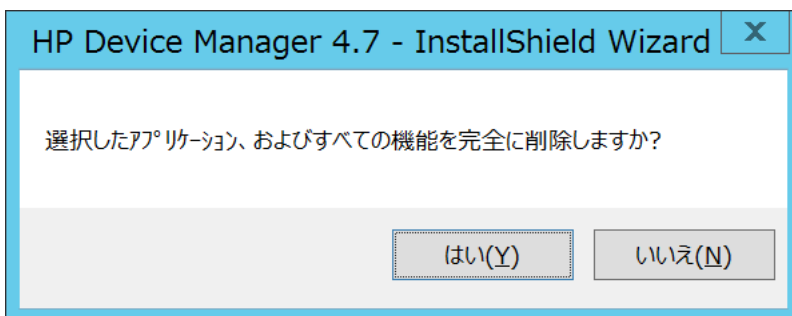
3. “OK” をクリックします。（既存の HPDM の設定が自動的に保存されます）



4. Windows の“プログラムと機能” から HPDM をアンインストールします。HP Device Manager 4.7 Service Pack 等のメインプログラムは、最後にアンインストールします。



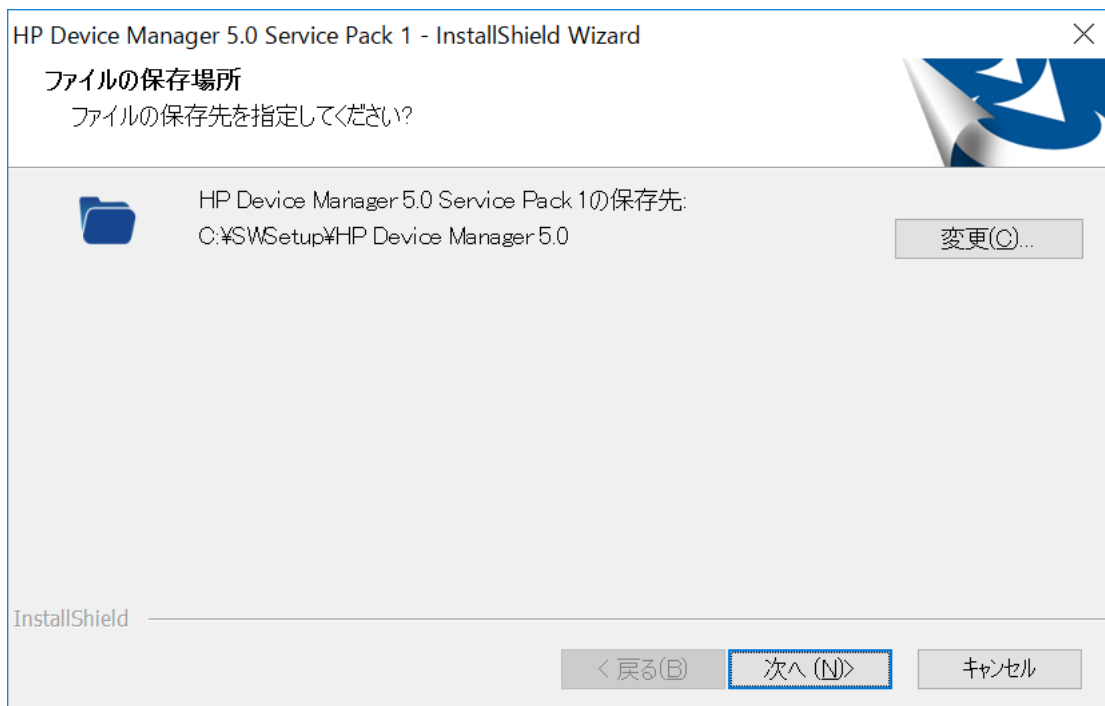
5. HP Device Manager 4.7 Service Pack 等のメインプログラムをアンインストール時に下記のメッセージが表示された場合、“はい” をクリックします。



6. アンインストール完了後、“はい、今すぐコンピューターを再起動します”を選択します。



7. 再度、HP_Device_Manager-5.0SP1.exe を実行します。下記の画面では“次へ”をクリックします。



8. “RESTORE” をクリックします。



9. “次へ” をクリックします。



10. 使用許諾契約にチェックを入れ、“次へ” をクリックします。

HP Device Manager 5.0 Service Pack 1

1 2 3 4
使用許諾契約 セットアップの種類 前提条件の確認 インストール

使用許諾契約

次の使用許諾契約を注意深くお読みください。

以下の条項をよくお読みください。本サイトで提供されるソフトウェアを使用する場合は、以下の条件に従ってください。これらの条件に同意する場合は、この契約書に隣接して画面上に表示されている「同意する」オプションを選択してください。これらの条件に同意しない場合は、「同意しない」オプションを選択し、本サイトからソフトウェアを一切ダウンロードしないでください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品を使用する前に、以下の条項をよくお読みください。

本ソフトウェア使用許諾契約書(以下「EULA」という)は、HPの製品(以下「HP製品」という)とともに使用するためにHPがインストールまたは提供した「ソフトウェア製品」のうちお客様とHP(またはそのサプライヤー)間の別途の使用許諾契約の適用を受けない「ソフトウェア製品」のお客様による使用に適用される。(a)お客様(個人または単一法人)と(b)株式会社 日本HP(以下「HP」という)との間の法的な契約書です。他のソフトウェアには、そのオンライン文書類の中にEULAが含まれている場合があります。「ソフトウェア製品」とは、関連媒体、印刷物、および「オンライン」または電子的文書類を含むコンピュータソフトウェアのことです。本「EULA」の補足または追加の規定が「HP製品」に添付されている場合があります。

「ソフトウェア製品」に関する権利は、お客様が本「EULA」の全ての条件に同意する場合にのみ提供されます。「同意する」ボタンを選択することによって、お客様は本「EULA」の条件に拘束されることに同意したものとみなされます。同意されない場合、本「EULA」の条件に同意さ

使用許諾契約に同意します。

キャンセル 戻る 次へ

11. “完全” を選択して、“次へ” をクリックします。

HP Device Manager 5.0 Service Pack 1

1 2 3 4
使用許諾契約 セットアップの種類 前提条件の確認 インストール

セットアップの種類

目的に適した種類のセットアップを選択します。

完全

すべてのコンポーネントがインストールされます(最も多くのディスク領域を必要とします)。

カスタム

インストールするコンポーネントを選択できます。詳しい知識があるユーザーにおすすめします。

インストール先フォルダー
C:\Program Files\HP\HP Device Manager\

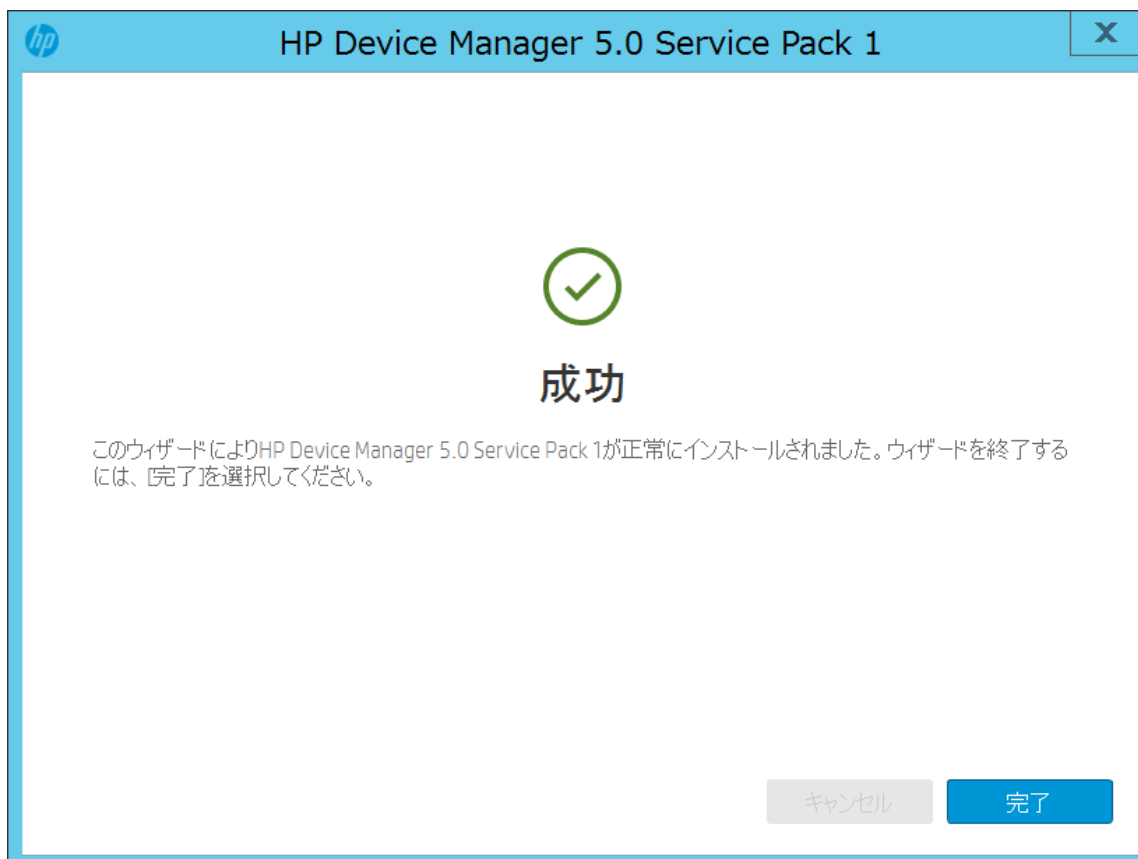
参照

キャンセル 戻る 次へ

12. 前提条件が満たされていることを確認し“インストール”をクリックします。



13. “完了”をクリックします。Windows を再起動します。



以上で HPDM のアップデートは完了です。

本書の取り扱いについて

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、該当製品およびサービス保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

この文書の著作権は株式会社 日本 HP に帰属します。日本 HP の許可なく一部または全体の複製・転載・編集等を行うことや、許可されていない第三者への開示等の行為全てを禁止します。

本文中使用される企業名、製品名、商標などはそれを保持する企業・団体に帰属します。

HPシンクライアントに関する情報

<https://jp.ext.hp.com/thin-clients/>

© Copyright 2019 HP Development Company, L.P.

The information contained herein is subject to change without notice. The only warranties for HP products and services are set forth in the express warranty statements accompanying such products and services. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty. HP shall not be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein.

